

## 休憩時間

おにごっこやサッカー、ドッジボール、遊具などを使って運動場で積極的に体を動かして遊んでいる。ほとんどの児童が休憩時間を外で過ごすことにより、全体的に運動量が増えてきている。また、自然と異学年との交流も生まれ、上級生から遊びのルールを教わったり、5分前行動を意識したりする姿が見られる。

「運動・生活アンケート」では、けんぱロードや竹馬、竹ぼっくりなどで遊ぶ児童が少なかった。しかし、1学期中の「遊具にトライ」への取り組みと、夏休み中に遊具の点検・修理を行ったことで、より遊具で遊ぶ児童が増えてきている。

